



定期考査について 校長 川井 まさよ

先月末、予定より1カ月遅れて、学校運営連絡会をもつことができました。学校運営連絡会は地域及び保護者の代表の方々メンバーで、第1回目の連絡会では、第二中学校の教育活動について、昨年度の報告や、今年度のことについての会をもちました。その際、新型コロナウイルス感染防止で休校期間中のことが話題となったとき、次のようなお話を伺うことができました。ある時、公園を通りかかると、二中の生徒がサッカーをしていたそうです。体の大きな中学生が、我が物顔でその場所を占領して遊んでいたら、小さな子供たちは、危険で安心して遊ぶこともできないでしょうし、かといって、自分たちから、場所を開けてほしいとはなかなか言いにくいことでしょう。しかし、その生徒たちは、その小さな子供たちにもスペースを空け、ボールが飛んでいかないように遊んでいたというのです。さりげなく、周囲の人たちに対しても、きちんと気遣うことができる生徒たちなのだと、うれしく思いました。



さて、15日(水)からの3日間、1学期の期末考査が実施されました。2カ月間の休校があったため、1学期の定期考査は、この1回のみとなっています。1年生にとっては初めての定期考査、2、3年生にとっても、久しぶりの考査でしたが、定期考査に向けて、どの学年の生徒も、学習計画を立て、自分なりに工夫して取り組んでいたと聞いています。中には、毎日平均3時間も勉強したという1年生もいるようです。定期考査本番では、どの生徒も一心にテストに取り組んでいました。その成果が、きっと結果にも反映していると信じています。

今日で定期考査が終わり、来週から、授業の中で、返却されていくこととなります。生徒達はこの期末考査返却後に自分自身の取り組み姿勢を振り返るとともに、学習内容のどの部分ができなかったのかが分かるということになります。



考査後の取組の中で最も重要なことは、できていない学習事項を生徒自身が自覚することであり、その課題を克服するために、学習をしていくことにあります。つまり、自分自身で、わからなかったこと、出来なかったことを克服し、学習すべき内容をできるようにしてから、次の学習へと取り組んでいきます。教師も、生徒ができていない学習事項を把握し、生徒ができるようにするための学習の支援をしていきます。

生徒たちが、テスト返却時には、点数にこだわらず、学習内容に目を向けて、何ができていないのか、何が分からないのかをきちんと把握し、できるようになるまで、粘り強く学習に取り組むことを期待しています。



今年は、コロナウィルスによる2カ月の休校期間のため、1学期は8月7日(金)までとなり、夏休みまで残り3週間となります。また、2学期は8月20日(木)からのスタートで、例年よりかなり夏休みが短くなっています。今までであれば、夏休みになったらやろう、と思っていたことを、今年は、今から少しずつ取り組むと良いかもしれません。ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてください。

7月20日(月)～8月31日(月)までの予定

日	曜	行	事	日	曜	行	事
7/20	月	全校朝礼(放送)	3年復習確認テスト	10	月		山の日
21	火			11	火		
22	水	生徒総会		12	水		
23	祝		海の日	13	木		
24	祝		スポーツの日	14	金		
25	土			15	土		
26	日			16	日		
27	月	学年朝礼		17	月		
28	火	進路説明会		18	火		
29	水			19	水		夏季休業日(終)
30	木	面談(全学年)	視力検査(全学年)	20	木	始業式	漢字検定(2・3年希望者再登校)
31	金	面談(全学年)	聴力検査(1・3年)	21	金		
8/1	土			22	土		
2	日			23	日		
3	月	面談(全学年)		24	月	学年朝礼	
4	火	身体計測(全学年)		25	火	専門委員会	
5	水	面談(全学年)		26	水	内科検診(6組・2年)	
6	木	面談(全学年)		27	木		
7	金	終業式		28	金		
8	土	夏季休業日(始)		29	土		
9	日			30	日		
				31	月	生徒会朝礼	安全指導

9/7(月) 生徒会朝礼 11(金) 立会演説会 生徒会役員選挙 17(木)18(金)中間テスト
30(水)～10/2(金) 移動教室【2年】5(月)～7(水) 修学旅行【3年】

勉強は役に立っている?!

本を読むのが大好きで、いろいろなジャンルの本を読んでいます。最近読んだ本は、『漢字のいい話』(阿辻哲次 新潮文庫)という本でした。世の中でパソコンが必需品となり、漢字に関心をもつ人が増えていることや、日本語の素晴らしさについて述べられていました。

「きょうはいしゃにいきました。」という文章。読点がないと、どっちなんだあと困ります。読点を入れてみると、「きょう、はいしゃにいきました。」と言っていることが理解できます。さらに漢字を使ってみると、「今日、歯医者に行きました。」と意味も視覚的にすぐに理解できるし、すっきりした気持ちになりますよね～と筆者の意見。確かに、本や記事が、すべてひらがな、カタカナだったら、読む方はたいへんです。

ふと小学校で習ったことを思い出し、国語の勉強、役に立っているなあ～と、普段感じていなかった発見に、気持ちがホッコリした出来事でした。

勉強は嫌々ながらやるよりも、楽しみながら取り組んだ方が身につきます。楽しむためには、疑問をもつことが大切です。私の専門は理科ですが、いろいろな本を読むたびに疑問がいっぱいできてきます。例えば、 $(-1) \times (-1)$ はなぜ $(+1)$ なのか?、英語の疑問文では be 動詞がなぜ文頭にくるのか? とか、なぜ、なぜ、だらけです。だから勉強しないとイケないな～と、日々ワクワクしながら本と格闘しています。(副校長 相川直綱)

